JAいわて平泉 コミュニティー紙 2017 秋 第12号

そ～じゃ＊い～じゃ

So~JA*E~JA

＊消費者×生産者×地域×JAをつなぐコミュニティー紙＊

岩手県フラッグシップ米「金色の風」いよいよデビュー

全国から、次々と登場する新品種のコメ。ここ岩手から、10年の歳月をかけて味自慢のコメ「金色の風」が今秋デビューしました。県南地域の選ばれた圃場で栽培方法や人、品質管理にこだわり、生産者と関係機関が一致団結し栽培したおいしいコメを、皆さまの食卓へお届けします。

「金色の風」は一関市内のスーパーでもお買い求めいただけます。ぜひ、ご賞味ください。

9／22 稲刈り開始

4／9 中尊寺で種まき式

5／8 県知事による田植え式

7／7 現地巡回指導会

8／1 ASIAGAP の団体認証取得を目指すと宣言

2／22 金色の風栽培研究会設立

JAいわて平泉
いわて平泉農業協同組合
〒021-0027 岩手県一関市竹山町7-1　☎0191-23-3006㈹

JAいわて平泉
マスコットキャラクター
このみん

第42回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

～JAいわて平泉審査会～

審査結果

JAグループは「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールを実施しています。これからの食・農を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作り上げてきた稲作農業全般についての学びを深めてもらうことが狙いです。

子どもたちが、毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現しています。

今回は、全国コンクールに先駆け、JAいわて平泉で行った審査会の入賞作品と受賞者の皆さんをご紹介します。

「特別」なお米

一関第一高等学校附属中学校　3年
渡部（わたなべ） 仁奈（にな） さん

祖父母のために書いた作文でしたが、まさか最優秀賞をいただけるとは思いもしませんでした。祖父母も喜んでくれています。ありがとうございました。

作文部門 最優秀賞 中学生の部

かぞくみんなでたねまき

一関市立永井小学校　1年
佐藤（さとう） 結衣（ゆい） さん

家の田んぼの仕事を小さいときから手伝っていて作文を書こうと思いました。家族みんなでする仕事は楽しいです。稲が大きく育ってたくさんお米ができたらうれしいです。

作文部門 最優秀賞 小学生の部

「ゆい、はじめるぞ。」

おとうさんが、おおきなこえでわたしをよびました。

「はあい、いまいく。」

わたしも、おおきなこえでへんじをしました。

わたしのおうちには、たんぼがたくさんあります。だからまいとし、かぞくみんなでたねまきをします。ことしは、なえばこ650ぱこぶんまきました。

おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、おねえちゃん、おにいちゃんとわたしの7にんでたねまきをしました。わたしのおてつだいは、つちをばけつにいれてはこぶことです。すぐにつちがなくなるので、なんかいもはこびます。だから、てがいたくなります。

わたしがいちばんたのしみにしているのは、いっぷくです。いっぷくはみんなで、きゅうけいします。（いっかいやすむとうごきたくなくなるんだよね。）とおもったけど、もうすこしでおわるので、がんばりました。

たねまきがおわったら、こんどはみんなでハウスにはこびます。ハウスはとてもあついです。なえばこをびっしりならべるので、わたしはビニルをひろげるのをてつだいました。ハウスにならべおわったら、やっとおわりです。

「やっとおわったあ。」

というと、おとうさんに、

「ゆいにてつだってもらったから、はやくおわったよ。ありがとう。」

といわれてうれしかったです。

わたしは、ごはんよりぱんやうどんがすきだけど、これからは、ごはんをたくさんたべようとおもいます。みんなでたねまきした、おこめ、たくさんとれるといいな。

私は、小さい頃から「特別」なお米を食べて育った。何が特別なのかというと、我が家のお米は祖父母が丹精を込めて作ったお米なのだ。私の父方の祖父母は農家を営んでおり、年に数回、我が家にお米を送ってくれている。祖父母の作るお米はとてもつやつやとしていて、炊飯器を開けると、蒸気と共にふわっとご飯のいい匂いが漂ってくる。口の中に入れると、もちっとした食感に続いて、お米一粒一粒の味を感じることができるのだ。そのまま炊いて食べてもおいしいが、おにぎり、お赤飯、稲荷ずしなど、どう調理してもおいしい。中でも春に食べられる炊き込みご飯が一番の楽しみだった。私は、ずっとこのお米を食べられるのだと信じていた。

しかし、最近その考えを覆す大きな出来事が起こった。祖父が病気で倒れたのだ。命に別状はなかったものの、祖父はしばらく農作業ができない体となってしまった。祖母は足が悪く、一人で長時間の重労働は難しい。

「もう、おじいちゃんのお米は食べられなくなるかもしれないね……。」

祖父が入院して数日。夕食のとき、母がぽつりと言った一言に、私ははっとした。今食べているこのお米が食べられなくなるかもしれないなんて、考えたこともなかった。目の前のご飯に、暑い日差しの下で汗を流して農作業をしていた祖父の姿が重なる。このお米の一粒一粒に祖父の苦労があることに初めて気づいた。今まで意識したことがなかったが、このお米が食べられなくなるかと思うと、改めて大切さが身にしみた。

現在、祖父はリハビリのおかげで少しずつ体が動くようになってきている。祖父本人も「早く元気になって、みんなにおいしいお米を食べさせてあげられるように田んぼの仕事をしたいなあ。」と張り切っていた。それを見て、私は以前祖父が「自分にとって農家は生涯現役だ」と言っていたことを思い出した。私には祖父が早く元気になれるように祈ることしかできないが、祖父ならきっと大丈夫だろう。祖母もほっとしているようだった。

この体験を通して、私は我が家の食卓にありふれていたご飯が、とても特別な存在に感じられるようになった。普段食べているお米がおいしいのは、祖父母の米作りに対する努力や愛情が詰まっているからなのであろう。農作業をしたことがない私にはよく分からないが、おそらく農作業は相当な重労働のはずだ。しかし、それを祖父は生涯続けたいと言っている。そんな祖父を、祖母は杖をつきながらも手伝っている。なぜ今までこのことに気づけなかったのか、今ではとても不思議だ。「自分にとって農家は生涯現役だ」この言葉はきっと、祖父の米作りに対する熱意の表れなのだ。

小さい頃からずっと食べてきたこのお米。祖父母の作るお米は、私にとっては「特別」だ。もしも食べられなくなったとしても、このお米のことはずっと記憶に残り続けるだろう。これからは、食卓に上がるご飯の一回一回を大切に食べていきたいと思う。他にも、祖父母の家で田植えや稲刈りなどにも挑戦して、お米についてもっと詳しく知りたい。

そんな思いを胸に秘めながら、私は今日も祖父母に感謝して、「特別」なご飯を一口一口噛み締める。

私とお米

作文部門 優良賞 中学生の部

一関第一高等学校附属中学校
1年 佐藤（さとう） 優羽（ゆう） さん

今回は、このような賞をいただき、とても嬉しく思っています。この作文を通じて、たくさんの方に岩手のお米の良さや、お米を食べることの大切さを知ってほしいと思いました。

お米についてわたしが考えたこと

作文部門 優良賞 小学生の部

一関市立興田小学校
5年 千田（ちだ） 小梅（こうめ） さん

入賞するとは思っていなかったのでびっくりしました。作文を読んでいただいた方々に毎日食べるお米の大切さを知ってもらいたいという思いを込めて書きました。

母のおにぎり

作文部門 優秀賞 中学生の部

一関市立桜町中学校
2年 黒澤（くろさわ） 夢（あゆむ） さん

母に対しての気持ちを書こうとしたときに母がつくってくれるおにぎりに対しての感情がわいてきたので、その感情をそのまま文字にして表しました。

おいしいお米

作文部門 優秀賞 小学生の部

一関市立油島小学校
4年 作並（さくなみ） 希星（きら） さん

この作文を書こうと思ったのは、自分の家の米作りを手伝ったときに、農家の人の大変さがわかったからです。米はおいしいと永井の祖母にも教わり、作文が入賞してうれしいです。

審査講評

作文審査員
元岩手日日新聞社　編集局顧問
小岩（こいわ） 聖二（せいじ） 氏

皆さんの作品審査を通じ、お米に対する深い愛情と未来に残していきたいとの熱い思いが感じられました。日本人に欠かせない主食であり、農家の人たちが苦労を重ね、丹精込めて育てている様子も随所にうかがえました。お米は常に家族だんらんの場にあり、部活をはじめとする元気の源であることも伝わりました。お米と農業を思う心をいつまでも大切にしていただければと願っています。

★入賞者の表彰を10月29日、第68回一関地方産業まつり農業祭会場で行います。

図画部門 最優秀賞

楽しいすしめしづくり

一関市立舞川小学校　4年
袖野 美咲（そでのみさき）さん

大好きなすし飯作りのことをかきました。二人で作っている様子にして、しゃもじを持つ人とあおぐ人に分けました。気をつけたところは、もようや色をていねいにぬるところです。賞に入ってとてもうれしいです。

図画部門 優良賞

がんばった田植え体験

一関市立厳美小学校　5年
飯島（いいじま） 楓（かえで）さん

総合の学習で田植えをした時の様子を描きました。稲の葉を目立つようにぬる所、土に見えるように色をぼかしてぬる所をがんばりました。入賞できてうれしかったです。

図画部門 優秀賞

おにぎりを食べながら、想う

一関市立小梨小学校　5年
千葉（ちば） 澪（みお）さん

入賞を知った時はうれしかったです。農家の方が一生けん命米づくりをして下さるから、私たちがおいしいご飯を食べられると思います。だからお米を一つぶ一つぶ描きました。

学校賞

両校は、第42回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール応募において、積極的に取り組み、多くの作品を出品していただきました。

作文部門

一関市立花泉中学校
小野寺（おのでら） 理香（りか） 教諭

夏休みに作品募集を行ったところ、日頃の米作りの手伝いから考えさせられたことや地元のお米のおいしさについて、率直に述べられた作品が多数寄せられました。この度の学校賞は、そうした本校の生徒たちの取り組み姿勢を評価していただいたものと、心より感謝申し上げます。

図画部門

一関市立厳美小学校
門間（もんま） 健一（けんいち） 校長

厳美小学校の5年生は、地域の方に田んぼをお借りして、毎年、米づくりに取り組んでいます。田植えから稲刈りまで実際に体験できることは貴重な経験です。秋にはグループごとに案山子（かかし）を作り、田んぼの周りに立てました。今年は、田植えをした時の感動を全員で絵に描きました。

審査講評

図画審査員
アートセンターキューブ　代表
及川（おいかわ） 武芳（たけよし） 氏

学級で子どもたちと先生が一生懸命取り組んでいる姿勢を感じうれしく思いました。今回は、応募作品が増えたことにも感謝しております。子どもたちが楽しく絵を表現したり、感受性豊かに発想したり創意工夫していて楽しく思いました。昨年に引き続き出品してくれたお子様の成長を感じることができうれしく思いました。

未来を担う JAの笑顔

利用者の立場になった対応を

JAいわて平泉　東山支店 藤原 美有(ふじわら みゆ)さん(20)

東山支店に勤務する入組1年目の藤原美有さんは貯金窓口を担当しています。「いつも笑顔で対応をしています」と組合員・利用者への感謝の気持ちを忘れずに仕事を進める美有さん。「貯金の手続きやキャンペーンのお知らせなどを分かりやすく説明するため日々勉強」と利用者の立場になった対応を心掛けています。「早く先輩のように仕事ができるよう、工夫して効率よく業務を進めたい」と意欲を示します。

スポーツが好きで小学校からバスケットボールをしてきた美有さん。「今度はバレーボールにも挑戦してみたい」と笑顔を見せます。

組合員や利用者の身近な存在に

JAいわて平泉　一関営農経済センター 菅原 快希(すがわら かいき)さん(20)

今年JAに入組し一関営農経済センターで勤務している菅原快希さんは、生活資材や女性部一関中央支部の担当をしています。入組当時に比べ、「先のことを考え責任感を持ち仕事ができるようになってきた」と笑顔を見せます。わからないことを確認しながら仕事を進める快希さん。成長できたのも面倒見の良い先輩方のおかげと感謝しています。「先輩のように、組合員や利用者の皆さまに早く顔を覚えてもらいたい」と笑顔であいさつをし、話しかけるように心掛けています。

趣味は車で、運転も自分好みに手を加えるのも好きな快希さん。休日は愛車と過ごしています。

JAバンクキャンペーン利用規約

《金利上乗せ(適用金利 店頭金利+0.1%上乗せ)について》

●お預け入れは、個人の方に限らせていただきます。●対象の定期貯金は新規お預け入れ10万円以上の定期貯金(自動継続)で預入期間は1年とします。●金利の上乗せは初回満期日までとし自動継続以降は継続日における店頭表示金利が適用されます。(金融情勢の変化などにより金利が変更になる場合がございます。また取り扱いを中止させていただくことがあります)●満期日前にご解約された場合はJA所定の中途解約利率を適用いたします。

《先着プレゼントについて》

●新たに定期貯金(自動継続)または定期積金を10万円以上ご成約された方、定期積金をご継続の場合は10万円以上増額された方に先着で「ちょリスランドリーネット」をプレゼントします。●新たに定期貯金(自動継続)または定期積金を30万円以上ご成約された方、定期積金をご継続の場合は30万円以上増額された方に先着で「金色の風 3合パック(期間中1人1個まで)」をプレゼントします。●個人の方に限らせていただきます。●定期貯金の預入期間は1年、定期積金の契約期間は1年以上とします。●賞品がなくなり次第終了とさせていただきます。

《さらにチャンス!!》

●新たに定期貯金(自動継続)または定期積金を10万円以上ご成約された方、定期積金をご継続の場合は10万円以上増額された方がキャンペーン期間中にJAカード、公共料金の口座振替、JAネットバンクのうち1つ以上新たにお申し込みいただくと、「ちょリス バスタオル」「ちょリス レジカゴ用バッグ」「スキレット」の3点の中から1つの申し込みにつき1点をお選びいただき先着でプレゼントします(最大3点。各種類1個までとなります)。●同時に複数の公共料金を申し込みいただいても賞品は1点に限ります。●公共料金は①電気料金 ②ガス料金 ③水道料金 ④NHK受信料 ⑤電話料金が対象となります。なお既に①~⑤のいずれかを契約されている方は対象外となります。●個人の方に限らせていただきます。●定期貯金の預入期間は1年、定期積金の契約期間は1年以上とします。●賞品がなくなり次第終了とさせていただきます。

詳しくは、お近くのJA各支店までお問い合わせください。

LET'S COOKING

ネギたっぷりのライスコロッケ

野菜ソムリエプロ
木村 千恵美さん

〈材料〉6人分

ご飯	300g
ネギ	60g
ニンジン	30g
卵	2個
とろけるチーズ	3枚
小麦粉	適量
パン粉	適量
サラダ油	適量
塩コショウ	少々
パセリ	適量

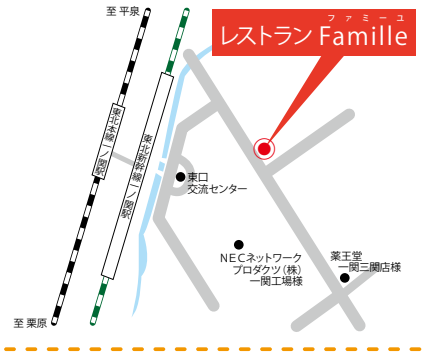
① ネギとニンジンはみじん切りにし、ニンジンは少量のサラダ油で軽く炒め、皿にとっておく
② 卵は溶きほぐしておく
③ フライパンに油を熱し、②の溶き卵半分を入れてかき混ぜ、半熟になったらご飯を加え、パラパラになるまで炒める。①のニンジンとネギも加えて炒め、塩コショウで味を調える
④ ③を6等分にし、それぞれラップの上に広げ、真ん中にとろけるチーズ1/2枚をちぎってのせ、丸くしっかりと包む
⑤ ④のラップをはずして、さらに手で握り、小麦粉、溶き卵、パン粉を順にまぶす
⑥ フライパンに深さ1cm程度の油を入れて熱し、転がしながらきつね色になるまで揚げ、パセリを散らす

豆知識 ネギは疲労回復効果があるとされています。また、緑の部分には抗酸化作用のあるβカロテンなどがたくさん含まれていますので、捨てずに利用することをお薦めします。

地産地消レストラン

レストラン Famille(ファミーユ)

「家族のようにお客様を迎えたい」というオーナー夫妻の思いが込められた「レストランFamille」は、11月でオープンして2年になります。白を基調にした明るい店内にはキッズスペースもあり、お子様連れでもゆっくりお食事が楽しめます。さまざまな店で経験を積んだご主人が作る料理は、コメや野菜、肉など地元食材をふんだんに使いどれもボリューム満点。「地元食材は新鮮で、生産者の顔が見え安心」と食材にこだわり、産直で見つけた珍しい野菜も積極的に取り入れるなど、おいしさへの挑戦を続けています。いわて南牛のビーフシチュー(=写真)は大きくカットされ柔らかく煮込まれた「いわて南牛」が堪能できる一品。ランチコースではサラダ、スープ、ライスまたはパン、ドリンクがついて1,800円(税込)で味わうことができます。「お腹いっぱいになって、笑顔で帰ってもらえる店にしたい」と母のような愛情が感じられるお店へ、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



一関市字宇南1-6　TEL 0191-31-5258
営 ランチ11:30~14:30　ディナー17:30~20:30
休 火曜日(当店営業日カレンダーの通り)

いわて南牛のビーフシチュー
1,200円(税込)

JAいわて平泉広報誌
KOSHERU こしぇる

組合員向けに発行しております JAの広報誌「KOSHERU(こしぇる)」は、JAホームページにてご覧いただけます。
地元の農畜産物など、盛りだくさんの情報をぜひご覧ください。

http://www.ja-iwatehiraizumi.or.jp
E-mail:kosheru@ja-iwatehiraizumi.or.jp

プレゼント!

「SO~JA*E~JA」をお読みになってのご意見・ご感想をお寄せください。お寄せいただいた方の中から抽選で10名様に図書カード(1000円分)を進呈いたします。なお、当選者はJA広報誌「こしぇる」平成30年1月号にて発表いたします。

応募方法

官製ハガキにご意見・ご感想と、住所・氏名・年齢・連絡先電話番号を明記の上、下記宛先までご応募ください。

応募締め切り 平成29年11月末 ※ご応募いただいた個人情報は、プレゼントの発送、JA広報誌での紹介にのみ使用させていただきます。

〒021-0027　一関市竹山町7-1 JAいわて平泉　総合企画課

いわて南牛ステーキ200g
1,000円引き

レストラン Famille(ファミーユ)
一関市字宇南1-6　TEL 0191-31-5258

※1枚につき、1名様まで、1回限り有効です。
※このクーポンは注文時にお渡しください。
※前日までのご予約をお願いします。

使用上の注意
有効期限／2017年12月末まで
□このクーポンはご自分で切り取ってから使用してください。
□本券は、他券との併用はできません。
□本券は、換金できません。
□諸般の事情により、クーポン券の利用ができなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

JAいわて平泉　So~JA*E~JA

発行／いわて平泉農業協同組合　編集／広報編集委員会　印刷／株式会社 岩手日日新聞社